

U=Uに関する 国際HIVシンポジウム in Tokyo

～「感染しない」は、本当か？～

2020年

1月13日 月・祝 14:00-16:30

国立国際医療研究センター大会議室
(東京都新宿区戸山1-21-1)

同時通訳付

入場無料
事前登録必要



日本エイズ学会
ウェブサイトの
お知らせからも
入れます

座長 白坂琢磨 (国立病院機構大阪医療センター/エイズ予防財団理事長)
大北全俊 (東北大学)

第1部 国際パネリストによる講演

- ・ **Bruce Richman (Prevention Access Campaign)**
U=Uの発信母体である Prevention Access Campaignの設立理事であり社会的活動家の視点から、U=Uの意義やこれまでの経緯について
- ・ **Simon Collins (HIV i-Base)**
U=Uを含め、HIVに関する情報を医療者やHIV陽性者に届け続け、またさまざまな臨床研究に携わってこられた経験から、U=Uというメッセージについて
- ・ **Stephane Wen-Wei Ku (Taipei City Hospital Renai Branch / H.E.A.R.T (HIV Education And Research Taiwan))**
アジアでの予防啓発や臨床におけるU=Uについて
コミュニティでの予防啓発にも積極的に取り組む臨床医の立場から

第2部 国内コメンテーターからのコメント

- ・ 松下修三 (日本エイズ学会理事長/熊本大学エイズ学研究センター教授)
- ・ 田沼順子 (国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター医療情報室長)
- ・ 生島嗣 (ふれいす東京代表)
- ・ 高久陽介 (日本HIV陽性者ネットワークJaNP+代表)
- ・ 井上洋士 (国立がん研究センター主任研究員/U=U Japan Project代表)

※出演者は予告なく変更する場合があります。

第3部 総合討論

主催：一般社団法人日本エイズ学会
ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

お問い合わせ：日本エイズ学会事務局 (株) 微生物科学機構内
FAX：03-6231-4035
E-mail：biseibutsu-com@umin.ac.jp